大正九年十二月二十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

定價　一ヶ月金一圓二十錢　郵税　金八十錢
廣告　五號一行金六十錢
特別　同金壹圓廿錢
發行所　新京日日新聞社　電話三二五〇・三二〇〇番
發行人　十河　榮　忠
編輯人　松本　男
印刷人　谷　啓二郎

建國第二年を迎へ　協和會躍進す　各種社會事業や移民など　大々的にスタート

王道主義の下に民族協和政治的教化團体として若人が人類愛の立場から蹶然として結成した滿洲國協和會も新春を迎へて中央事務局、哈爾賓、齊々哈爾、地方事務局その他既設分會辦事處は大同二年の新計畫に入つた。從來の第一、第二の工作は終えて愈々第三第四次と實際的に地方民の福祉増進のため積極的活動に入るが、北滿地方の生活必需品の欠乏の補給特産物の運輸金融の方策から民心の緩和慰安等々南滿地方の經濟發展日滿經濟提携等特筆すべきものが多い

移民計畫

研究調査立案する筈である滿洲國日本の重大問題である移民計畫も同會で調査研究し移民の便を圖る筈であるが年と共に協和會の爲すべきものが多い、斯くして全体を通じて新興の血に燃へて居る

哈爾賓事務局發會式

滿洲國協和會哈爾賓地方事務局は開設以來東支西部線呼海線主要地に宣撫員を派遣し王道實化、民族協和のため死線を越へて活動を續けて居たが去年五月十九日松花江上に於て呂維濟氏、九月一日安達站に於て渡部充男、范鴻修兩氏の尊き建國の人柱を出した事北滿未曾有の大水害の善後措置の如きは滿洲國建國史の數頁を飾る功績である爾來同事務局は血と汗と愛で涙ぐましい活動を續けて來たが、北滿の治安も恢復したので愈々本格的の活動に入ることになり現哈爾賓市長呂賓氏を事務局長に推し來る十五日（場所未定）發會式を擧行することになつた、同局の活動は北滿に平和境へを現出するであろう

分會辦事處

既に全滿を通じて分會辦事處が八十余箇所出來上つて正式會員のみ六千名を擁して居るが本年中には全滿各地に分會を設立する豫定で既に各地方から分會組織方を申出の地も多く地方民が協和會の必要を日々に認めて來て居る

各種宣傳

宣傳も第三第四宣傳期に入つたので宣傳大系に依り會員自体から對内對外相互宣傳等々次々と積極的の活動に入り三月一日の建國記念事業等盛澤山の仕事が多い

社會事業

社會事業としての第一は協和會館設立無料法律相談所の設置から病める人々への施療班の派遣貧民救濟孤兒院養老院將來の滿洲國の社會事業を如何にすべきかも同會に於て

一月上旬の外國貿易概算

〔東京十日發國通〕大藏省發表＝一月上旬十六港外國貿易概算（單位千圓）

輸出	一一六六四
輸入	二二五九〇
合計	三四二五四
入超	一〇九二六

正貨準備	一、一三三〇、六二八
保證内譯	四二五、〇六八
公債	四四二、九五一
政府證券	四四、五四二
證券	一二七、八七七
手形	二九〇、一八八

主要債券利廻低下

〔東京十日發國通〕勸銀調査四月現在主要債券利廻り平均利廻り五分七厘三で前月より一厘低下す

日銀發行高

〔東京十日發國通〕日銀週報發行高（單位千圓）

日本興業株盛況

〔東京十日發國通〕日本産業所有の日本興業株は本日賣出したが午前中に應募超過しプレミアムが五十圓と云ふ盛況であつた

諸株總じて圓安

〔東京十日發國通〕買過ぎ反動で昨日後場から利喰ひ賣りが續出し午前東株式市場諸株一齊に反落し長期鐘紡は七圓二十錢安、日魯は八圓七十錢安、滿鐵新株七圓〇四錢安、短期新東日産等總じて圓安

恩給改正案要旨

〔東京十日發國通〕恩給改正案議會提出と政府では方針決定し豫算も關し大藏側と最後的折衝をして居り月末迄には議會提案の運びとなるだらうが其要旨左の如し

一、一般文官の受恩年限を二年延長し十七年とす
一、巡査、看守は二年延長し十二年とす
一、下士兵卒は一年延長し十二年とす
一、昇給の緩和を計るため恩給の支給は退職前最後の一年の俸給を基礎とするを原則とする、但し例外を設ける
一、地方巡査と教職員は中央並とす
一、公務の爲めの殉職遺族扶助料増額の事

對外貿易は入超期に入る

〔東京十日發國通〕上旬貿易は前年末の好調に比し案外の數字だが正月での變調からで一部懸念の輸出停頓輸入激増の徴候ではないが本年も愈々本格的入超期に入つた事は爭へない、今後毎旬七八百萬圓入超となり、三四月頃輸入再生期に向ふと見られる

拂に充當の爲め輸出してゐた從來の方針を改め、特別會計創立を立案してゐると聞いてゐるが、若しこれが事實ならば我黨の進言を容れたものだ但しその主旨貫徹のため政府鞭韃の必要ありと提案して決定した

民政黨の初幹部會

〔東京十日發國通〕民政黨では午後二時から、本部で初幹部會を開催、小山幹事長報告の後小川總務は政府では金流出防止と共に買上産金を海外

新海相就任の挨拶

〔東京十日發國通〕大角海相は十日午前十時海軍省に登廳省内第一會議室に高等官一同を集め海相就任の挨拶をなし其れより淀橋の私邸に岡田海相を訪ひ事務引繼ぎを行つた

主要工業品産額十二月分の統計

新京に於る十二月主要工業品産額統計は新京警察の手で本日出來上つたが内容左の通りである

品名	單位	數量	資本金	數量	價格
豆粕	（枚）	二	一八〇、〇〇〇圓	一三、六二一	一四九、七三二圓
豆油	（斤）	同	同一會社	九九六、三五五	八六、八五三
麥粉	（袋）	五	[illegible]	四二、九四三	一五三、一八〇
麩皮	（袋）	同	同一會社	三九、七四九	六、八四七
マッチ	（打）	三	[illegible]	一三六九八〇〇	三四、二六六
高粱酒	（石）	三	[illegible]	八一〇	四〇、六五三
木材	（石）	六	[illegible]	七四六	三五、四七〇
醤油	（石）	一	[illegible]	一〇〇	一一、五〇〇
味噌	（貫）	同	同一會社	三、六〇〇	一、四四〇
計	金	二	二七〇、〇〇〇		五三九、五三九
	鈔票		一六五、〇〇〇		

新年の米界　大阪堂島米穀取引所一般取引員　岡米吉氏談

金再禁止第二の昭和八年は財政の大膨脹を根基とする爲替崩落すインフレーションの二重奏によつて愈々目覺しい景氣の沸騰を見るべく、既に昨冬來其の片鱗を財界各機構の上に現はし、就中株式の熱狂的活躍と諸商品相場の暴騰は近年その比を見ざる處で、十一月以來一ヶ月間の證券相場の値上り實に十七億圓といふに至つては其の財力の膨脹驚くの外無く斯くて新年度の經濟界は未曾有の金融大緩漫時代を現出すると共に、獨り割安の位置にある米價の如きは必然的に諸商品高に追隨する無く、米價の先高豫想は最早一點の疑ふ餘地なきものの如くである

×

唯併し玆に考ふべきは清算として先高人氣の爲に津月大上鞘を買はれることであつて高値出現の時期が早ければ其れでも優に利する餘地あれど若し晩れるに於ては鞘に値喰はれる虞れなしとしない、即ち今後八、九月頃まで六、七ヶ月の間に毎月五十丁宛鞘を買ふとせば鞘だけで三十圓近い値頃に到達し、甚だ妙味の薄い事となる、此の鞘買の不利なことは、昨年の買方が充分体驗したところで、先高人氣に逸る結果は再び昨年の二の舞を演出せんも渉り難く玆に於てかある仕手は上鞘買を避け、寧ろ思惑の對象を正米に求めんとする所以である正米を買つけて清算の上鞘に賣つなぐ此種の鞘取り商内は本年も相當流行するとと思ふが、それ丈けに又何處かで鞘疲れを來しはせぬかの不安はある

×

以上の如く、米が他の商品と同樣に一氣に溌渕たる騰勢を期待し得ない所以は畢竟季節的の制肘を受けること多きによるものにして、既に前年の收穫高は内鮮米合して七千五百萬石以上豫算し加ふるに端境の持越高八百數十萬石を數へ、十一、十二兩月の消費高を見ると尚且全國に、七千萬石の大量を存し、而も未だ米還りをうへてゐないのだから何處かで出穀安を見んかの不安の附纏ふは當然の事にして、單に農家の腰が強いといふことによつて此の漫然環境に追隨し得ない理由と存するのである

×

故に若し清算と[illegible]むるならば、或程[illegible]かず、其の時期[illegible]的反動下げと待つ[illegible]月頃にあるのでないかと見て居る、尤もそれは、環境の成行にもよるから財界は各方面とも素晴しい景氣を展開しつゝあるので、若しインフレ景氣が一段と生彩を加へ、株界が狂騰するとなれば或は米もその渦中に捲込まれるかも知れずそれによつて高値を早く出す場合も豫想されるから固より空賣け危險にして鞘疲れを見越せばとて迂闊に賣込むことは出來ぬと思ふ

そこで自分は從來株賞清算米賣の方針を把持し來り、米界人の多くが思惑の對象として擇んで居る、正米の代りに確實なる株券を所有し其の繋ぎとして清算の先物に預け相當効果を收めてゐるが今後も此の方針の下に恐らく三、四月頃まで津月上鞘々々と乘換えてゆくつもりである、そして豫定の鞘疲れが來ればそれから敢然買進んで行つて大丈夫米價の前途は實に洋々たるものだと見て居るのである

怪人凱歌（百十四）

（舞臺上演映畫化）須藤鐘一　（畫）瀧秋方

友情（二）

千鶴子の方は、同じ里子でも、比較的東京に近い、上品な舊家に育てられたし、女のことゝて、それほど家のものから兎や角云はれるやうなことはなかつた。然し、思ひやりの深い、やさしい彼女の心としては、兄妹の信雄が、そんな風に繼子扱ひにされるのを見ると、自分のこと以上に口惜くもあり腹も立つのであつた。

信雄は遂に自棄に陷つた。家庭にゐれば、みんなから白い眼で見られ、冷やかな待遇を受けるので、滅多に家には居なかつた。

學校のかへりに友人のところへ立ちよつて、夜もおそくかへるやうなことが度かさなるやうになつた。

これまで家庭で『土百姓』とか『田舍つぺ』とか呼ばれた彼が、ランス語の練習に通つてゐたのもよさせられてしまつた。彼女に對する女王のお覺えが悪くなると、一家の者は申しあはせたやうに千鶴子に對しても他所々々しくなり皆んなで樂しさうに談笑してゐる所へ、ひよつこり彼女が這入つて行くと、急にひつそりとしてしまひ、いつか一人立ち二人去つて座が白ける。又、千鶴子が遠方から此方へ來るのを見ると、襖と襖の方へそれて、なるべく彼女の顏を見ないやうにするのだつた。

千鶴子は、それと知ると口惜くてたまらないが、誰れ一人として腹の憂欝を訴へるやうな人はなかつたので、齋へ行つてたゞ獨りで忍び泣くばかりであつた。

『こんな時、第一番に走つて行つて、その膝に顏をうづめて泣くべきお母さまが、あの通り冷淡であるから情ない。せめてお父さまでもゐて下すつたら……』。悲しい事には、まだ自分のお父樣のお顏は固より、その生死の程も知らないのだ』と、彼女はまだ見ぬ父親の事が頻りに思はれるのである。

だが、一たい父上は何處にどうして居られるのか、まだ此の世の何處かに生きてゐられるものか、それとも、もう疾の昔に死んでしまはれたものか？——それが幼い心の悲しい疑ひの種であり、暗い影の源であつた。

信雄はたうとう家出すべく決心した。或る日、彼が珍らしく机に向つて何か書いてゐるところへ、千鶴子が入つて行つた。彼は慌てて書きかけのレターペーパーをさつと破いて机の下へ隱した。

『お兄さま、何アに？』と、彼女は寄つて來た。

いつもに似ぬおど〳〵した兄の樣子を怪しんだのである。

『何でもないよ』

『おや、隱したりしないでもいゝでせう』

『隱しやしないぢやないか。君がそこへ來たら破いたまでさ』

『おや、それを見せて頂戴』と千鶴子は飽くも迫つて行く。

近頃は『不良少年』と云ふ呼び名に代へられ、本人よりも先に、家庭のものが彼を不良兒扱ひにし出した。

『見て居ろ、そんなに不良兒が望みなら、立派な不良兒になつて見せるぞ！』と、信雄はこゝろに叫んだ。

その後は二日も三日も家をあけるやうになつた。外ではモガ、モボ連と交り、銀座から日本橋邊のカフエーを飲み歩く、淺草あたりの地まはりと一しよになつて、活動寫眞や安來節の小屋に出入りする、學校からは餘り缺席が續くので、屢々注意して來たが、一向效顯を得ぬので先頃除名されてしまつた。

彼の墮落は益々深酷になつて行くのだつた。然し、母の關子を始め親類縁者から召使のものに至るまで、一しよになつて、信雄を非難め、誹るので、彼の立つ瀬はなかつた。千鶴子がたゞ一人、蔭でハラ〳〵しながら彼の墮ちて行くのを喰とめやうとしても、可憐な少女の力ではどうすることも出來なかつた。

後には、信雄の味方をするといふので、千鶴子までが母關子の機嫌をそこね、これまでピアノとフ

學良と僞勇軍關係 證據書類發見さる
戰况を事細やかに報告の 宋九齡の手紙入手

【國通】救國軍或は僞勇軍と稱する反滿匪軍が北平の張學良並に南京政府に糸を繰つられて居ることは彼等の凡ゆる僞裝にも拘はらず一見明瞭で殆んど疑を容れる餘地のないところであつたが、最近某方面に於て動かすべからざる證據を入手し果然熱河僞勇軍は學良がこれを繰縱しつゝあることを立證し得るに至つた、即ち從來も

一、熱河救國軍總監朱霽青は汪精衛より任命された

二、遼西救國軍總指揮彭振國及び第四路司令耿繼周は共に學良より任命された

三、救國軍總司令朱慶瀾は張學銘が奔走して學良から任命され蔣介石からも司令部の組織を命ぜられた

四、而してこれらに對する武器彈藥並に軍資金は學良及び南京政府から支給されてゐる

等の事實並に蘇炳文等が常に無線によつて學良と連絡を取りその指令を仰いでゐた事實等よりらかに推斷されてゐたのであるか、遂に左の如き東北民衆救國軍總指揮宋九齡より學良に對する報告書外二三を入手したることにより確然動かす可らざることが明かとなつた

一、宋九齡の學良宛書翰

本職隊を出でて數日を閱せるも未た成績の見るべきなし唯彈藥給與未だ配給せられざるを思ふ、朱霽青と合作し少許を得以つて救はるゝを得たり本職部下汪、孟兩校長、朱某を補助し義縣を侵攻す、本職は先に副官王懋章を派し民工四十餘人を帶同十八日夜十一時流水堡以西の鐵道レール五本を破壞、宏家屯橋梁二本を爆破、七里河子電柱五本を倒して切斷、右工作完了後我獨立中隊々長劉雲漢の十九日夜十時の報告を受く右報告によれば我軍朱總監は孟、汪兩支隊及び各部隊約二千餘名を率ひ十九日拂曉三時義縣附近の敵軍と交戰し五時に至り我軍は義州全部を包圍せり敵軍は防戰する能はず爲に驛迄退却し機關銃を以て我軍を猛射す我軍の一部は西方に稍々退却し敵を誘導し敵軍の追擊し來るを俟ち之を反擊す。民團の援助あり敵軍二百餘名を殲滅す、右實情を報告す。義縣東北西方面は既に全部回收せり我軍は既に積極的に各部隊を集合し二十五日拂曉三時を期して錦縣を攻擊回收すべし、右報告は隨時之を傳すべきも取敢へず義縣回收の經過情形を事實により報告す御調査を乞ふ　敬具

十月二十日　宋九齡

張副總統閣下

（註）宋九齡は前東北陸軍第六旅長前遼西僞勇軍總指揮で、右書翰の封筒には敬呈北平張副司令鈞啓と筆書し【東北民衆救國軍總指揮部】の印が捺してある

二、東北陸軍第百七旅長董福亭の發給せる僞勇軍の熱河通過許可に關する通知證

通知證、北平綏靖公署より特派せる李寶連、姚岩閣の兩名は東三省方面に赴き事件の調査に從事するものなり、途中牛營子、八家梁、八閣營子、川心店、沈家台等を通過すべきも各該所の官私軍警及連壯會等の各機關は宜しく懇切に右兩名を協助護送せられんことを望む茲に弊旅より通知證を發給す御査閲の上は直ちに通過せしめ決して手間取らざらしめよ、右李寶連、姚岩閣之を所持す

東北陸軍第三十六師第一百零七旅司令部發給

三月十日　旅長　董福亭

三、楊存松の參謀長宛書翰

存松一別後直ちに北票方面に赴く、道中極めて都合よく之皆大人の恩澤による、北票到着後直ちに工作に着手したるが萬事極めて良好なり御配慮下さらば幸なり、部隊集結完了す何處に行くべきや、人馬に限りありや御指示賜りたし又北票稽查處々長王德林は小生を非常に惠愛し又民團軍數千人を募集し義縣或は朝陽寺を攻擊の際は願くは此の人馬を貴殿の手に交錯し、貴殿の指揮の下に戰鬪をされよと云へり、貴殿の威名は已に四海に通じ存松之を聞き欣快に堪へず、右の辨法に關しては王處長に禮狀を差出す外存松にも方針を御指示下されたし、何卒御返事を乞ふ

十月十五日　楊存松

參謀長大人鈞鑒

九門口占據は 自衞的目的による 關內には前進せず

【山海關十日發國通】當地方（山海關）に於ける日本軍は事件不擴大の大方針に遵ひ靜かに支那軍の行動を觀てゐるが、學良は正規軍を續々前線に輸送し積極的態度を變へず九門街道により軍隊は勿論連日多量の兵器彈藥を滿洲國領域內に送り込みつゝあるので皇軍は日滿議定書の規定に據り滿洲國の自衞上支那軍の滿洲國侵入の國境の要領たる九門口を封鎖する必要に迫られ十日朝これを占領した譯だが占領の目的が全然右の如き理由によるものであるから部隊は九門に止り更にこれから關內に前進するが如きことは絕對にない

十九國委員會は 手をひき靜觀せよ 又は問題を東洋へ移讓せよ
滿洲國政府の主張

【國通】十六日より開かれる聯盟十九ケ國委員會に關し滿洲國側に於ては左の如き觀測を下して居る

一、委員會が行懸りの上より單に聯盟の面子を立てんため極東最近の事態進展を無視し日支問題の實際的解決方法をとらずしてあくまで法理、形式論に拘泥したる決議案を發見せんとするなら、それは極東を世界的危機の導火線に誘ふ樣なもので、聯盟は自ら世界戰爭を手招く樣なものである

一、聯盟としては滿洲國の國家的進展を暫時靜觀し、一方滿洲問題を中心とする日支間のあらゆる經過を實際的に研究し和協の範圍を發見すべく努力すればよいのである

一、萬一和協方法の發見に相當時の經過を必要とする時は決議を延期し極東に關する實際事態の轉換を熱視すべきである

一、之れを要するに聯盟が問題に深入りすればする程極東は益々混沌化すべく其原因は聯盟が殊更らに極東問題に解決を與へんとする裁判官的心理に支配されて居るからである、聯盟はあらゆる問題を平和的に解決せしめる便宜機關で、一國家の動向を制禦する機關ではないのである

一、從つて委員會は世界的混亂の危機を防止する見地より靜觀か或は問題を東洋に移讓するかこの前途のうち一途を選ぶのが最も妥當と思はれる

酉年名士 (5)

金谷範三氏

陸軍大將、大分縣人、明治六年生れの六十一歳、十八師團長、陸軍大學校長、朝鮮軍司令官、軍事參議官、參謀本部總長等に歷補

山海關熱河に 配備された支那軍

【天津十日發國通】學良軍の對日戰備前線の軍事移動は十日を以て殆んど完了し次の如く配備された

一、山海關の日本軍に對する部隊は步兵第九、第二十、第五、第十六の各旅を主力とし騎兵第三、第四の二旅砲兵第六、七の各一部合計兵力は約五萬で第一線は石河の北方一帶

一、熱河に集中された部隊は步兵第二十九、第三十、第十九及び第十六旅の一部兵力約三萬

山海關方面の 學良軍配備狀況

山海關方面の支那軍は石河右岸の後七里寨、五城庄、卸地々の線に步兵第六百二十七團騎兵第三旅の二團を配し第一戰陣地となし、大戶寨、西富家庄の線に豫備陣地がある、安民寨に王寄峰の第三旅の司令部と騎兵一團がある、何柱國は第九旅の『主力』を豫備隊として海陽鎭に控還してゐる、湯河右岸の日塔岸、靑石山、平山營には第二線陣地を占領して依然戰備を嚴にし、日本軍進軍するに能はずとしてゐる、張學良の今回の軍事行動は實力を以て日本に對抗せんとする彼の既定方針に基くもので、十一月には熱河省の東南部に陣地を構築し、十二月初旬を期し部下兵力を新配置に移す移す答であつたが、たま〳〵十二月八日に山海關事件が發生したので中止し、十二月下旬より步兵第四ケ旅を熱河省東南部に進出しめ、熱河軍僞勇軍を煽動激勵し反滿抗日氣分を釀し、遂に今回の山海關事件になつた、故に此等の事件の責任は學良の負ふべきなり、其後學良は人心を抗日傾向に轉じ北平の防備に蔣介石をして河北軍を『北上』せしめ、以て牙城の儲へとなし、部下の步兵三旅、騎兵二旅を灤東に進出するに

山海關方面の 我が既得權益

（東京十日發國通）山海關事件日支直接交涉開始の報道に對し政府當局は右は地方事件とし局地的解決する樣中村軍司令官に交涉權が附與されてゐることだが公式未だ、我政府では一九〇一年北淸事變の最終議定書と一九〇二年の天津還附に關する交換公文の規定を嚴重履行するやう要求してゐる、即ち右に依れば

一、帝國政府は北平及山海關間の自由交通を支持せんがため列國との協議に基き山海關、灤州間の地點を占領する

一、右地點にて帝國駐屯軍指揮官は鐵道線路の兩側二哩の距離に對し軍事裁判權を有し鐵道線路、電信線、駐割軍人とその所有品に對する支那側の犯罪を彈壓し治罪を行ひ得る

一、帝國政府は右條約上の權利に基き山海關東方の安全確保のため右地域に對する支那武裝兵の進出せぬやう要求する

さある

至つたのである、最近小軍閥は勿論小將領が一後して對日武力抗爭を豪語し、南方政府及張學良の命令さへあれば北方に兵力を集中する氣勢にあるば學良が昨秋漢口の蔣介石と會見に於て諒解なり十二月の河北の將領會議に決定の既定事實に因を發してゐる

四川の內亂 再發

（漢口十日發國通）重慶來電によれば劉湘楊森間は接收問題で決裂し劉軍は五日進擊を開始し四川省內に內亂再び勃發し人心極度に動搖して居る

閻錫山も遂に 抗日に參戰か

（天津十一日發國通）太原來電に依れば閻錫山は十日その聲明を發表し來平進出の意あることを明らかにした

日本に宣戰布告をするには我國としては準備不足故暫らく宣戰せざるまゝ抵抗すべきである、今回多くの士卒を失つたのは對日抵抗を等閑にした學良の罪である山海關事件では學良も從來の非を悟り抵抗したがこれはもともと蔣介石の指示に從つたものである、對日抵抗は我々軍人の天職で學良軍の北進も無理はない、我軍も平津に進出し共に參戰するの準備一切を既に完了し、中央の命令を奉じ陣頭に起つて大兵を移動するの機會を待ちつゝある

僞勇軍の目標 錦州の奪取にあり

【國通】最近又々進擊の態勢を取り始めた熱河僞勇軍は磐山、溝帮子の附近にまで便衣隊となつて潛伏してゐる匪賊を合せ數萬に及ぶ兵力を糾合し之を數路に分ち、別働隊の襲擊方向をも定めて機の熟するを待つて居るが、彼等は錦州攻略を第一目標とし遼西一帶を、その手中に收めんとして居る模樣である、即ち僞勇軍たる救國軍總監朱霽青が十日の攻略に際し各路の總指揮に與へた指令、或は彼等より報告を求むる書簡等に於て錦州攻略の方策を指示して居り更に指揮總監部に於ては恰もソヴィエット方策を換骨脫胎したやうな錦州攻略後の應急並に半永久的政治工作の方式を決定し之を配布した事實がある、而して昨今に至り關內の東北軍及熱河の僞勇軍が頓に緊張し來るや之と相呼應するが如く綏中附近はもとより大凌河以東の地區に於てさへ匪賊の出沒が俄に頻繁となつた事は更に後方攪亂を策してゐるものとのみ見るべきでなく明かに錦州を先づ陷れんとする既定方針を遂行せんとして居るものと解すべきで十日某方面に達した情報によれば元傅作義の旅長何紹南なるものゝ十一月廿四日錦西一帶の前線を視察すべく學良の命を受け秘かに同地へ向ひ、又孟紹田なる者も同じく學良の命により錦西附近の現地調查に向つた事實あり是等は學良の意圖が奈邊にあるかを語るものである

蘇炳文軍敗殘兵を 熱河に送る策動
蘇炳文が泣いて通電

（北平十一日發國通）熱河方面の形勢逼迫と共に目下トムスクに在る蘇炳文軍三千を外蒙古より熱河に運搬の上僞勇軍と共同動作にあたらしめんとの計畫再び支那側當局により實行方法を考慮するに至りこれが運搬策として目下自動車の仕向け方に就き各方面と連絡を取りつゝあるが、蘇炳文は九日トムスクより泣いて國民に告ぐるの書を寄せた

男女老幼動員して敵を殺せ我三千の精銳は率先して敵にこれ當らんと通電し來つた

支那側遂に 長期抵抗を決意す

（南京十一日發國通）軍事委員會は山海關事件に對する軍部側の意見を本日非公式に左の如く發表した

日本側の軍事行動により山海關事件の擴大は必然で第二衝突は近く山海關の領地で同時に勃發を見るだらうと支那は長期的抵抗の決意を語つた

支那軍、長城 以南に退却

（天津十一日發國通）確報によれば我軍の九門占領で、支那軍は長城以南九門の部落に退却し同時に石門塞方面に兵力の一部を集中せしめて我軍に對する逆襲を企てつゝある

滿洲に於ける 舊東北軍及 僞勇軍の 戰死者

（北平十日發國通）一昨年九月十八日事件以來去る十二月五日までの滿洲に於ける舊東北軍並に僞勇軍の戰死者數として當地で支那側は左の如く發表した

正規軍	二〇、二一四
僞勇軍	二五、六一八
計	四五、八三二

南京附近に 新砲臺

（南京十日發國通）支那側消息によれば南京淸涼山及獅子山一帶に新砲臺を建設するに決し土地の測量を開始した

蔣張今更會 見の要なし
國府當局語る

（南京十日發國通）國府當局は本日我社記者に語る

昨今山海關事件に關し蔣張會見說あるも全然無根だ、日本の對支侵略は當局の豫期したところで十分對策を有し事件發生の今日至急會見の要なし

馮玉祥、上海 中委に打電
抗日義捐金を募れ

（上海十日發國通）馮玉祥は本日上海にある中央委員李烈鈞、程潛、薛篤弼に宛て次の如き電報を寄せた

北支方面の形勢は極めて重大である、余は武力を以て日軍に抵抗せん事を主張する我等の力及ばずと雖も今や全力を盡してやるべき秋である、日本に對し武力抵抗をなすものは我等の友であり對日妥協を計るものは敵である、諸君宜しく上海にありて抗日基金義捐會なるものを組織し抗日に要する經費を募集すべし、

年頭所感

滿洲國外交部總長 謝介石

滿洲國建國第二年の新春劈頭にあたり余の第一に想起するのは客歲承認答禮使として日本國に使ひし上下の熱誠なる歡迎を辱ふした一事にして殊に優渥なる御沙汰を賜つた畏きあたりの御恩寵に對しては余の終生忘れる能はざるところである、滿洲國と日本との深厚なる關係に就いては茲に喋々する迄もなく昨年九月十五日の正式承認により極めて明白であるのみならず兩者の不可分な親善關係は日を追ふに從つて愈その緊密濃厚さを加へつゝある、これは滿洲國の礎の愈打倒し難き鞏固さを如實に示すものとして歡喜に堪えない、しかも日滿兩國のこの加速度的緊密さは舊東北軍閥殘黨をしてその最後の據所をも失落せしめる結果となり如何なる反滿洲國工作も遂に滿洲國の國礎に微動だに與へ得なくなつた、これは三千萬民衆の幸福のため慶賀すべきで彼等殘黨の運命も今や風前の燈火に似た樣である、滿洲國の國是民族協和、王道主義の實踐、門戶開放、機會均等は一點色めがねを以て臨む者を除き、漸次國際間に信義を博するところとなり比隣蘇聯邦との關係も極めて順調にさきにその極東領域內に滿洲國領事の派遣を見、善隣親交關係を如實に證據だてたが更に近く首都モスクワに滿洲國外交代表者の駐劄を見んとし不可侵條約の締結も今や現實の問題として論議されるに至つた、蘇聯邦の滿洲國承認が恐らく遠からざる將來において實現されるであらうことは余の確信して疑はざるところである、更に歐洲各國間にも新興滿洲國の實體明瞭なるにつれ漸次正式承認の形勢にあり殊に獨逸其他郵政關係においては明かなる國家的連絡の成立を見て居り、事實上その一部承認した形を採つてをることは注目さるべきであらう、滿洲國としては至公至平あくまで建國の大精神を遵奉、國際信義を重んじ先進諸國と修好締約もつて世界平和に貢獻せんと欲するものである

滿洲國實業部總長 張燕卿

滿洲國富源の開發はその端緒を建國第二年卽ち大同二年において着手されねばならぬ、建國第一年は凡ゆる方面とも當面の問題處理に忙殺されたために國家百年の大計を樹立しこれを遂行するの餘裕を持たなかつたのであるが既に庶政その緒に就き殊に治安維持の方策成り秩序は漸次回復されつゝあり三千萬民衆各々その業に勵むべき環境が今や急速に形成されつゝある際弊國建國の大精神に基きひろく外資を吸收し埋れてをる未開の寶庫を開拓しわれ人共に利福を享受するは大の理に順ふものでこれを遂行するに何ら遲疑するの要あるを認めない、殊に唇齒輔車の密接不可分の關係にある日本國と經濟ブロックを締成し、相互にその足らざるを補ひ多きを分ち合ふは共存共榮の大精神に副ふ所以で余は日本の有能なる資產家がその金融的勢力を弊國富源の上に利用し以て滿洲國建國の大業に經濟的、金融的援助を致されんことを希む

人事往來

▲黑田少將（豫備役）十日午前九時三十分ハルビンへ
▲岡本正一氏（ハルビン憲兵隊長）同上
▲川畑海軍少佐（滿洲海軍特務機關）同上
▲張亞東氏（中東海林採木公司理事長）同上
▲鈴木中佐（鐵道第一聯隊附）十日正午來京同四時三十分南行
▲堤少佐（ハルビン兵站支部長）十日午後三時三十五分東京
▲河野正尚氏（滿鐵南洮事務所長）十日午後四時來京
▲四王天中將（豫備役）十日午後四時三十分南行
▲佐堂理事（滿鐵）十日午後四時三十分南行
▲長山警視（鐵嶺警察署長）十日午後七時五十分來京
▲藤田悟郎氏（天津病院長）十日午後十時南行
▲闞朝山氏（四平街卍會々長）同上
▲田中中佐（關東軍參謀）十一日午前八時來京
▲渡邊一等獸醫正（關東軍獸醫部長）十一日午前九時[illegible]行

遊動警察隊員 素行治まらず

飲酒、酩酊、拔劍して暴る 見兼ねた新京署注意

最近滿洲國遊動警察隊員邦人の多數が武裝した儘附屬地內に入り來り料亭、カフエー、飲食店等で飲酒果は拔劍して亂暴を働き他の客に迷惑をかけるは勿論邦人として体面を汚す者が多いので新京署では滿洲國側に通達注意を喚起する處あつた

聖上、生物學御研究に 貝類海藻類御採集

〔東京十日發國通〕葉山御用邸に御滯在中の聖上陛下には御造詣深くわたらせられる生物學御研究の爲十日午前十時御用邸裏海岸から御用船に召され四名の潜水夫を隨へさせられて森戸の沖合まで出でさせられ貝類海藻類を御採集遊ばされた、陛下には一々御手に執られて正午過迄海上に過され御研究遊ばされた

重臣顯官に御慰勞 鴨獵を仰せつけらる

〔東京十日發國通〕長き邊りでは宮內大臣その他御慰勞の思召で十日鴨獵を仰付けられた、首相以下各大臣柴田翰長以下內閣書記官德川近衛秋田植原貴衆兩院正副議長は午前九時二十三分東武電車で埼玉縣越ヶ谷御獵場へ赴き各自掬ひ網を手に鴨獵に打興じ此の鴨料理の午餐拜受午後も續行四時五十分雷門着歸京した、尚各省次官に對しても十二日新濱御獵場に於て仰付けらるる筈

早蕨の犠牲者に 皇族方から祭粢料

〔東京十日發國通〕秩父宮、高松宮各皇族方は早蕨犠牲者の海軍葬に祭粢料を賜る由

三角地匪は何れも歸農

三角地帶內の匪賊は皇軍の掃蕩に逐次潰滅せられ四散し今や全く集團の影を沒した、永く首魁として不逞を働いてゐた鄧鐵梅の所在は不明であるが部下は所在の部落に歸農した、李子榮は皇軍の爆撃により爆死したとの噂があるが大房身附近に生存してゐるらしい生捕となつた劉景文は身邊の危險を感じたが隙を狙つて逃亡したので行方搜索中であるが右の狀態につき討伐行動を中止し各警備地區の治安に任し一部を以て殘匪を掃蕩する

長春縣を新京道と改稱か

〔吉林來電〕當地省最高當局の語るところによると長春縣は首都に隣接せる關係もあり長春が滿洲國の首都となりあらゆる機關乃至名稱が何れも長春から新京に改められた關係もあり長春縣四鄕を新京道に改稱すべしとの輿論が高まつて來たため當局に於ても目下考慮中であると

旅館に働く 娘さん達東京から

ハルビンの亞細亞ホテルへ 美人揃ひ三十八名

〔東京十日發國通〕今度ハルビンに設立された關東軍兵站部專屬旅館亞細亞ホテルの女中、事務員、交換手、食堂給仕として働くべく、七百人の應募者の中から選ばれた娘さん達三十八名は十日午前十時飯田橋の市立職業紹介所に勢揃ひしたが、酷寒の北滿に乘出さんとする女群の年齡は十七歳から二十五歳迄平均十九歳で、一行は十二日午後七時半亞細亞ホテル經營者水谷氏に率ひられて東京驛發十三日神戸出帆のあめりか丸に乘込み大連奉天經由ハルビンに赴き直ちに仕事に取かゝる筈である

長春座改善の聲 各方面から起る

契約更改期に際し 會社で直營にせよ

新京唯一の娯樂場、長春座を堀川德太郎氏が借り受けそれを又賃貸してゐる期限がやがて來るので、今度は堀川氏へ貸すのをやめ、會社直營、直營と云つても興行を直營するのでなく、興行者に直接に貸すことにし此際であるから多少の犠牲は拂つても建物に修繕を加へ、電燈の如きも、數を殖して明るくし、娯樂場らしくした方がいゝとの輿論が起つてゐるが右につき某氏は左の如く語つた

なるほど現在の長春座は娯樂場らしい氣分がしない、ガランとして薄暗い照明はまるでお寺の本堂にでも入つてゐるやうだ、活動寫眞を上場してゐる時でも、電燈が灯つたらもつと明るく華やかであつて欲しい、これからの「新京」娯樂場のやうなものもまだ擴がりつゝ行く方面に必要とする時期の來るのは當然であるが、それにしてもその必要は二年先か、三年先かであり、當分の間は長春座を使へば澤山であらう、それには先に云つた通り、娯樂場らしい娯樂場にせねば駄目である、お座布團にせよ火鉢にせよ、お茶の器具にせよ、有りあはせのもので間にあはせて置け主義では駄目であろ、興行物は後からぐ／＼とあがつて來る、どうしても長春座くらひの廣さのある建物でなくては蓋をあけられぬやうな所謂大ものも幾つか數へられてゐる今日である、長春座として債權團に拂込む「金利」なども樂々拂込める今日である、一時他から融通しても、華やかにきれいな興行場とする資金を投じても決して算盤のとれぬと云ふやうなことはないと云ふのでなかなかの輿論であらう、長春座株式會社重役諸公の一考をわづらはしたいものである

利用者激增し 列車ホテルを增設

今度は二等車一輛 宿泊料も一圓五十錢と二圓

旅行者の增加で新京大和ホテルでは客室の不足から鐵道事務所と打合せの結果十二月十一日から新しい試として一等車寢台一輛を新京驛構內に入れ客室にあて旅行者の便宜を計つてゐたが、最近益々利用者が激增し、十一日から更に二等車寢台一輛を增し旅行者の便宜を計ることになつた、開業以來の宿泊人は百三十九人に達し大盛況を見せてゐるなほ引續いては同ホテル內に娯樂室を設け旅行者の慰安に努める、二等車寢台料金は四人室一人で借切る場合は七圓二人室一人で貸切る場合三圓五十錢、普通一人上寢台一圓五十錢下寢台二圓である

デヴィスカップ出場者

〔東京十日發國通〕日本庭球協會は本年度デヴィスカップ出場選手を本日發表した

三木主將　佐藤次郎　布井良助　伊藤榮吉

城內の水道 十五日から賣り水

新京市營上水道は愈來る十五日を期して通水の同日より大馬路五個所の配水所で一般に賣水する事となつた

新京奉天間 郵便が三日かゝる

非難の聲各方面から起る

〔奉天滿通〕滿洲各地に於ける郵便物の取扱高は昨年來何れも急激の增加を示し、殊に新京、奉天等の主要都市に於ける郵便物は人口の增加率に數十倍の激增振りで舊臘の年賀狀取扱數の如き全く未曾有の數を示してゐるがこれがため各郵便局でも及ぶ限りの陣容を整へて晝夜の別なく執務してゐるがそれでも間に合はず、殊に新京の如きは窓口事務が遲々として運ばず早くも二十分位は待たされる狀態で一般に非難の聲高きは既報の如くであるが、昨今年賀郵便のため臨時雇の人がゐなくなつたためが郵便物が停滯し配達も著しく遲延をみて新京發普通郵便物が奉天に配達されるのは三日目となる狀態であり、これがため急用の場合は通常郵便では間に合はず電報によるより外はないので一般甚だしく不便を感じてゐる

新京署兵事係 特別資源調査

能力の調査が主目的

資源調査令第五條に依る特別資源調査は一月半ば全滿一齊に行はれるが新京警察署兵事係で之が徹底を期する爲先づ指定工場主十五名を召集調査內容に就て說明するところあつたが、更に十一日五人以上の職工使用設備を有するもの並に常時五人以上の職工を使用する普通工場主三十六名を召集懇切說明する處あつた、明日より十三日にかけ百十五名の工場主を召集の筈であるが、調査內容は工場名、企業形態資本金、全能力を發揮した場合の產額、增產計畫の概要、原料材料の生產地及數量等で統制經濟の唱導され居る折柄とて滿洲に於ける特別資源調査の結果は注目されてゐる

滿鐵々道部で 保温貨車運轉

料金は十一錢增し

滿鐵々道部で今回新しい試として保温貨物輸送を行ふことになり、これが試驗のため十二月二十三日、大連、新京間で貨車內にビール二百五十本サイダ百本、精酒五十本を積込み、室內を三度に温め輸送したところ非常な好成績をあげた、今後同車を利用申込者に對しては普通料金に十一錢を增すことにした

中東鐵路も 國幣勘定になる

中東鐵路は從來滿洲國新貨幣の勘定を肯じなかつたが十日より全線に亘り使用する旨李督辨が言明した

今朝の寒さは 零下二十八度四

未だ二三日續きそう

十日夜から急に低下した氣温の爲に本格的な寒さは滿蒙一帶を襲ひ十一日朝の最低温度二十八度四で最近のレコードを破つてゐる前年と比してはるかに寒く去年一番嚴しかつた日は二月十八日の二十六度六で此の分で進めば二月の嚴寒は三十度をゆうに下るものと豫想される、然し側候所の話に依ればこの寒氣は今蒙古、北滿方面に高氣壓が起り蒙古方面から吹下らす西北の風が强烈な爲で此處二、三日はこの寒氣を持續するものと見られるが、この高氣壓が朝鮮、臺灣方面に去つて勢力が衰へ低氣壓が起れば從つて東南の風と變るから自然又暖かくなるであらう

記者協會臨時總會

新京日本記者協會は十日夜六時から臨時總會を開會後引續き七時から市內寳宴樓に於て關東軍第四課々長として新任された坂田中佐を始め同課宮脇少佐、近く參謀本部に榮轉される同課吉野大尉並びに近く入營する國務院新聞係員樋口氏を主賓として迎送會を開催、藤本參謀にも列席を乞ひ櫻井幹事より迎送の挨拶あり之に對し坂田中佐並びに樋口氏答辭を述べ、水入らずの歡をつくし午後九時半和氣藹々裡に散會した、因に同會幹事は次回二月からの幹事として大朝中村、大連新聞高橋、國通大矢、商通藤田、新京日日の箱田の五氏を推擧した尚當日入會を承認したの十名あり十日現在會員は左の通りである

日本電報通信社　藤井祥正　平山驛
新聞聯合社　大岩和嘉雄
大阪東京朝日新聞社　中村桃太郎　川崎萬博　井上震次郎　藏居良造
大阪毎日東京日日新聞社　櫛崎觀一　櫻井重義　關考與一　田中香苗　志村冬雄　上沼健吉
報知新聞社　中西　森觀夫
滿洲日報社　南里順生　武田重儀　米田秀甫
大連新聞社　高橋勝藏　根元武雄
總永定吉　香山次男　青山一雄
大滿蒙新聞社　尾崎剛　石黒覺治　立石隆司　齊藤清　宇山長策　菊池二郎　瀧口堯
新京日報社　箱田琢磨　箱田宗雄　原幸之　遠藤正　仙波事　岡田廣美　小野久士
泰東日報社　柳町精　二上政治
奉天電報通信社　渡邊義一　松尾高行
滿洲國通信社　里見甫　大矢信彦　山川渉　三島泰雄　木村春彦　佐々木健兒　瀬沼三郎　島田不朽郎　頴原淳　前田圭　日下部武徳　牛島俊作　田代省吾
中野秀昇　瀧田知雄　太田悅之　竹內壽郎　本橋一　坂本楨
滿洲新報社　安東照
奉天新聞社　小林規志郎
日本商業通信社　藤田藤助　津志田寛
奉天滿洲日報社　木谷仁
奉天毎日新聞社　松本與四郎
盛京時報社　湯畑一　吉田正凱
哈爾濱新聞社　池田磐根
朝鮮民報社　八島三郎
東京時事新報社　稻垣兵治
新京日日新聞社　十河榮忠　松本勇　田中直[illegible]
やまと新聞社　部甲文雄　清水晟治

徐景德南下

さきに歸順を許された徐景德は八日黑河を出發チチハル向け南下した、同江にある路永方も無條件にて歸順を申出で鶴河にある匪軍も亦滿洲國に服從する旨を聲明した、東北線方面の討匪進行し東北邊境の秩序も回復しつゝある

料理店組合總會

新京料理店組合では八年度總會を十二日正午から料亭千鳥で開催役員の改選本年度行事豫算等の協議を行ふ筈である

使日感想(上)

國務院法制局　賀嗣章

私供の滿洲國童子團は今年の秋に日本の有名な講師日本少年團聯盟理事長三島子爵閣下に新京に御出でを願ひましてすつかり御教を受けて成立したものでございます其の時に理事長二荒伯爵閣下も御出でになつて御教を下さいましたのでございます

今回政府の御命令に依り即ち我か童子團理事此の度訪日童子團々長現在奉天教育廳長章煥章先生に隨行し、日本に御詞労々一荒伯爵、三島子爵閣下の御招きに預つたのであります、下關から御迎の御使に遇ひ其處からずつと東京まで驛々に日本少年團諸君の御出迎に相成り、殆んど夜中にも拘はらず此の寒さを冒して十二、三歳の御子供達まで御出迎被下た事は私供一同をして深く感激致さしめました。東京に着いてから日本の少年團全國聯盟始め各地方に至るまで凡ゆる官紳學商各方面から誠心誠意の熱烈な歡迎を拜戴仕り併せ・御訓詞を頂きました事は實に感激の餘りで光榮とする所でございます

回顧致しますれば私が東京早稻田大學卒業後最早二十何年になりますが其の間に只一回丈け參りました、其時は震災前でありますが已に日增しに壯大になりつつあることを感じたる次第でありますのに今度參りましてから震災後の今日の大東京を拜見致し僅か廿年內外の內に如斯世界に誇り得る大都市を建設したる日本國民の偉大なる力には一層驚歎に堪へざる譯でありました今では最早三十何萬の大東京となりなして居り自動車の往來は織るが如く、自動車の番號が三萬を超過したのであります、都市の經營は言を俟たず、井井として秩序井然であります、單に塵埃がないのみならず其の大通りから歩行の道に至るまで丸で其れを我々の寢台にしても好い位で、清潔奇麗の事は極端に達して居り、高樓大建物は林立して居ります、此れを英國の倫敦佛國の巴里と比較しても少しも遜色がないのであります。東京ばかりでなく今回歩いた横濱、横須賀、日光、京都、大阪、神戸、門司、下の關等到る處も矢張同樣に奇麗で清潔であります、此の物質的文明は迚も我々の國では及ばないのであります、然しながら彼れも人なり予も亦た人なり、爲す者あれば亦た是くの如く所謂事は人の爲す所に在り、不能に非ずして爲さざるのであります。況はんや此の先進國の日本が我滿洲國と兄弟となつたのでありますから、是れと力を併せて國民が精神を込めて努力すれば我滿洲國も近き將來に於て理想的王道樂土の國家建設が成る事を信ずるのであります、況んや恐れ多い事で御座いますが御盛儀の執政を頂き申して居ることでありますれば、最早之れは時の問題と信ずるのであります

本社主催 圍碁と麻雀大會

圍碁大會(廿二日頃)
麻雀大會(廿九日頃)
＝詳細は追て發表＝

ラヂオ

十二日(木)
奉天後五、〇〇　レコード
錢行　金銀相場
新京後五、二〇　演藝　商業通信社
新京後五、四〇　講演　日本的司法狀況視察感想　司法部總長　馮涵清
東京後六、〇〇　ニュース　東京中央放送局編輯
新京後六、二〇　時事解說(滿洲語)氣象豫報及滿洲語ニュース
新京後七、三〇　ニュース(英語)
新京後七、四五　ニュース(露西亞語)
新京後八、〇〇　ニュース(朝鮮語)
新京後八、一五　ニュース　氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
東京後八、三〇　時報
新京後八、三一　講演　滿洲國治安狀況に就て(內地向)　民政部警務司長長尾吉五郎
東京後八、四五　ニュース　東京中央放送局編輯

氣温と天氣

十一日氣温最低零下二十度八、最低同二十八度四、十二日の天氣西の風晴

凄艶紅涙陣（せいえんこうるゐじん）（一七六）

鈴木彦次郎作　飛鳥久[illegible]畫

雄馬は早速、事のあらましを申述べて、自分と鐵之助の保護を頼み入つた。——夜陰に乘して、鐵之助を連れ出す計畫である。

むろん、廣澤は、かねての約束通り、快諾してくれた。

ほつと胸を撫で下した雄馬やがて、別室に引取ると、ごろり、横になつたきり、晝すぎまで、何事も知らず、ぐつすり寝入つた。——昨日以來の心勞が一時に襲つて來たのである。

——とつぷり、日が暮れた。

雄馬は、廣澤に挨拶して、ひそかに、藩邸をぬけ出した。

行手は、烏丸竹屋町、十一屋。——思へば、大膽極まる仕業である。しかし、友の身を氣遣ふ情は彼に、あらゆる危險を突破させるのだつた。

昨日までは、堂々、正面から出入した假藩邸。——それを、ぐるり廻つて裏門へ。

ぢつと、あたりの氣配をうかゞつて、やにはに、扉に飛びつく。

「えいッ！」

低い矢聲と共に、雄馬は、忽ち門を飛び越へた。

青葉繁る木の下消。——雄馬は足音も忍ばせて、一歩一歩奥へ進み入つた。

夜も五ツすぎ。——

裏へ出張つた鐵之助の部屋からは、雨戸の隙間を洩れて一條の燈火がほうッと、闇を明るく染めてゐる。

「おゝ、待つてゐるのだな！」

飛び立つ思ひに駆られた雄馬、やつと、あせる胸を押し靜め、ぢいつと、邸内の様子を窺へば、幸ひ、奥は、しんと靜まり返つて、人聲する聞へね。

雄馬は、うなづいて、そつと、鐵之助の部屋外へ近付いた。

「しめた！」

耳をすませば、低い空咳の音。こと、こと、こと——

雄馬は、かるく雨戸を叩いた。

「エヘン！」

一際高い咳拂ひと共に、中では鐵之助が立上る氣配。

つゞいて、すうツと、音もなく一枚の雨戸は繰られた。

鐵之助の窶れた姿は、灯を背負つて、ほの黒く、眼前に浮く。

——おお、友は無事でゐたのだ！——

たまりかねて、雄馬は、ひしとその手を握つた。けれど鐵之助は、それに答へず、

「ああ、いい星空だなあ。」

と、天を仰いで歎賞しながら、素知らぬ様子で、ぐいと友の手を引く。

雄馬は、ほいと、縁先に上る。その瞬間、雨戸は、かたく閉ざされた。

「女鹿！よく、無事で——」

「しいッ！聲が高いぞ。」

鐵之助は、嬉しさに興奮する友を制しながら、行燈の下にさし招く。

幸ひ、誰も氣付いた氣配もなく遙か、離れた表の部屋から若侍どもの笑ひ興ずる話聲が、聞へてくるばかり。——

鐵之助は、やをら、にぢり寄つて、聲も低め、

「君こそ無事で何よりだつた。勘七を斬つたのは、君か、それとも、阿部か！」

「おお、その話、——もう、知つてるのか。」

「うむ。今朝、四戸次郎から聞いて、ほつと安心致した。屋敷中は、勘七慘死の噂で一杯だぞ。四戸の話によると、勘七が自分から買つて出ただつたが、一體あいつを仕止めたのは誰なんだ？」

「俺だ。——しかし、時既に遲く、阿部は、卑怯な欺し討ちに逢ひ、見るもむざんな最後を遂げてしまつた——！」

新京日日新聞

定價 郵稅 廣告 特別
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四丁目一番地 電話三二二五番・三三〇〇番
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

阿片卸小賣人選定に 早や利權屋跋扈
運動金を卷き揚げる
政府は飽くまで嚴正の方針

滿洲國政府に於ては愈々近く阿片の專賣開始を決定したので目下政府に於て阿片卸賣人及小賣人を選定中であるが卸賣人及小賣人志願者早くも殺到し、新京、奉天、吉林、チチハル等に於て十一日現在卸賣人志願者は百八十（定員一區一名で十名）を突破し小賣人出願者も定員六百名に對し千數百名に達し、早くも不良利權屋が跋扈し各方面にその志願者現はれ甚しきは東京方面にまでその魔手を伸しつつあり、或は小賣人で運動してやるさ稱して金をまき上げられた者がその眞否を確めに來るのでこの跋扈する不良の徒が續出するので一般に警戒を要する次第であるに關し財政部星野總務司長は語る

被害を蒙つて居る人のある事も屢々耳にするが政府さしては現在殺到してゐる志願者中より各方面の材料に基き最も嚴正公平に之が選定の方法を講じつつあり、策士の運動に乘ぜられたり各部內外の要人職員の運動により可否を決するが如き事は斷じてない、聞く所によれば不良利權屋又は詐欺漢は、自分は滿洲國政府の要人さ知己ありさか、軍職員や職員、等さ親密にして居るから之に對して運動して居るさ稱し、まことしやかに誘引してゐるさの事であるが政府は右の如き不良不純運動者の乘ずる余地なき或方法をもつて調査考究をなし嚴密公正に選定するのであるから、一般志望者は決して之に乘ぜらるる事なき樣特に警戒して欲しい

決の爲め十日商船うらる丸で門司着午後一時出帆の同船で神戸に向つた

協定預金利下げか

〔東京十一日發國通〕爲替騰懸案の協定預金利下げ氣運濃厚にて廿日頃實現の形勢即ち十三日の交換所理事會にて非公式に意見を纏め大阪名古屋の諒解を得る筈で利下率は定期預金は年五厘、日步預金は各一厘、當座預金は据置きさならん

株式小賣等人氣好轉

〔東京十一日發國通〕米綿始め歐洲すじの賣りに軟調を呈せるも後株式小麥等に人氣好轉ししつかりに引けた、商品海輸に於ける日支交涉擴大も好材料視されてゐた銀塊、支那すじの賣に小量商ひあり平穩小しつかりに引けた、引跡もやゝ强含み

人絹綿絲關稅撤廢に紡績聯合反對

〔東京十一日發國通〕日本輸出綿織物同業組合聯合會調查所は七年度數量總計は八四四四五一、一〇〇ヤード金額總計は一三三九、〇七〇、〇〇〇圓で數量では六割增加、金額では五割增加さ飛躍してゐる關稅調查會は人絹、綿糸その他關稅附加稅撤廢意向で立案中だが紡績聯合會は左の理由から撤廢反對の　情さなつた

一、自國產業保護の爲め各國さも關稅引上げの潮流に反す

一、昨年末は支那以東の逆輸入を見たが關稅撤廢せば愈々增加せん

貴院劈頭の質問者

〔東京十一日發國通〕休會明け二十一日の貴族院劈頭の質問者二荒芳德伯は思想問題、加藤政之助氏財政問題、水野氏農村問題で近日中に正式通告の筈だが二荒伯は司法省部內の思想問題を質すべく重視されて居る

爲替管理法案 起草された內容

〔東京十一日發國通〕政府今議會提案の爲替管理法案は理財局で起草中であつたが、この程大綱を決定十日大藏省議で大體これを以て法文の大綱さすることに決定した、法文作成の上は關係者さ協議の上速かに議會に提案の筈だが、名稱は爲替管理法案、全文で八ヶ條頗る廣範圍に亘り、運用に關する具體的規定は全部命令に委任せんさするものである大綱左の通り

法案內容

一、現行資本逃避防止法に規定せる諸項

二、無爲替輸出禁止又は制限

三、前項の禁止又は制限に關係ある事項につき報告を徵し又は帳簿その他の檢查を行ふ權限

四、爲替管理又は日量その他政府の指定するものをして行はしむるを得る件

五、外貨債の强制買上權能並びに外貨評價委員會設置

六、罰則

爲替管理法と市場

〔神戸十一日發國通〕爲替管理法案が傳へられ市場浮動を豫想したが之に反し市況頗る落つき上海の後ゴマリさ共に

引締り閑散裡に引けた

米百万石買換斷行か

〔東京十一日發國通〕農林省では最近米價が下押し氣味故休會明け前百萬石買換せんさ見られてゐる、朝鮮米も一月中に五十萬石買上げさ見らる

林總裁門司着

〔下關十日發國通〕林滿鐵總裁は議會出席旁々增資問題解

內外綿制度改正

〔東京十一日發國通〕內外綿重役會では頭取制を廢止し取締役會長制さしその後任には阿部彥太郎氏を推薦さ內定の模樣

齋藤首相園公を訪問

〔東京十一日發國通〕首相は休會明け議會も迫つたので新年の挨拶旁々聯盟に對する帝國の態度並び議會に臨む政府の所信さ報告諒解を得る爲議會再會前興津に西園寺公を訪問する豫定で日取りは十四日頃さなる模樣である

立川奉天署長表彰さる

立川奉天署長並に酒井警部の兩氏は通化事件の功勞により外務省特別賞狀さ賞與を授與された。

世界市場に於る 我が綿製品と人絹（二）

我人絹の進出

最も華々しき新興業さ目される我人絹は一昨年來素晴らしく海外へ進出して來た、然もこの進出が、國際的に輸入防過の盛んな時代に行はれたこさは注目に値する、先づ人絹製品輸出狀況を示さう

	昨年一—一〇月	一昨年同期
△人絹糸		
數量（千斤）	五、〇四三	一、七四六
價格（千圓）	五、三四〇	二、〇四三
△人絹織物		
羽二重以外		
數量（千方碼）	二三二、二七九	八一、一四三
價格（千圓）	三三、四〇五	一四、五三六
羽二重		
數量（千斤）	八、九七〇	四、二〇三
價格（千圓）	一五、五八九	八、五三三
價格合計	四七、九九四	二三、〇八九

即ち昨年一—一〇月の十ヶ月間に於ける輸出高を一昨年同期さ比較すれば人絹糸は價格數量共夫々二倍半以上になつて居り又人絹布も數量に於いては五割增を示し、價格に於いても四割五分以上の增加である輸出先さしては左記の如く東洋市場が主さなつてゐる

人絹織物輸出高（昨年一—一〇月）

合計 四七九九四千圓

內	
インド	一八、六六六
蘭印	九、九七一
エヂプト	五、五一二
濠洲	一、九七
南阿	一、六二八

進出の理由

然し乍ら、オツタワ會議の結果イギリス各自治領は續々關稅引上を實施して居り、又其他の諸國も圓爲替下落による事實上ダムピングを防止する爲め既に禁止的高關稅を課し或は課さんさしてゐる

新年小說 春よ・いつまでも

楠田敏郎

北富三郎 畫

はるみは、また腕時計を見た、十二時を十五分ばかり過ぎてゐた、

あたしは、これで時計をもう十遍も見るんだわ、さう氣がつくさ、ごうせ醉つぱらつてしまつて、一切そんな事には氣のつかない人だが、自分にありつたけの好意を寄せて長いあひだ通つて來てくれてゐる安川さんに申譯のないやうな氣がするのだつた。

はるみは、さつきから、すこしづゝ氣持をあせらせて、た、信じられるんだからこそ

信で切つて、ありつたけをまかせてしまつた三津澤が、今日さ云ふ日になつて嘘をついたり、ひらりさ身を交はしてしまふさは思へないのであつた思へないだけに、豫期しない事件が三津澤に起つたのではないかさそこまで考へて見たりした。

「嫌だなあ、はあ公、お前今夜はごつかしてるぜ」

ぴしやりさ頬を打たれたやうな思ひで、氣持ちを取戻し、別に怒つてゐるのではなかつた安川さんを見るさしかし、相變らずごろんさした眼で好きでたまらないものを見る感情をあらはにはるみによこした空になつたウイスキーのカツプを、突き出してゐるところだつた。

「濟みません」

はるみは、自分でも可笑しいさ思ふほど、さきまぎしたが、立つてバアテンダアのさころへ行つた。

そこらの、ボツクスに、みんな女さ抱き合ふやうにしたり、膝の上に器せたり、そんな風に、云ひ合せたやうなポーズをさつた客たちの眼が、一齊に自分にそゝぎかけられるのを、はるみは意識した。

青葉の汁でそのまゝ染めたかさ思はれるやうな新鮮な青さの地にかなり太い縞が赤で通つたお召の着物を、フエルトの草履がかくれる程長く着て、黑繻子の帶を胸高にしめたはるみの姿は、あたりを明るくするほど、はつきりしたものだつた。まだ二十一になつたばかりの、しかも身體ぜんたいが發散する處女性さでも云ふかひごく初々しい感じが、長い袂をひらひらさせてゐるのを、實に似つかはしく見せたり、發達しきつた四肢のつりあひがよくされてつゝつさ足をすつて步く樣子に、ひごく魅惑的なものがあつた殊にはるみは女給らしい厚化粧をきらつてもしかしたら素顏ぢやないのかさ思はせるほご若さと健康さの美をあつめた顏を、すこしうつむき加減にしてゐるので、ひさかごのインテリゲンヤチに見せた。でこのカフエオリエントに來るほどの客は、一應は必づはるみに野心を持つた。

はるみは、それらの、醉つてもまだ本性を失はずにゐる客たちの投げてよこす眼へ、何かを答へて置いてパアテンダアから受取つたウイスキを持つて歩き出した。丁度その時、そこの近くで、蓄音器のレコードをためつすがめつしてゐた喜久江が、ついさ寄つて來た。

「彼女、すこし悄氣てるね」

「馬鹿ね」

「あら、ひさが同情してるのに」

「知らないッ」

「でも、みなさん、あんなに騷いでゐるんだから、もう來ることよ」

「ださ思ふんだけれご」

「がつちりしてんのね」

あちよし

「でも、早く來ないさ、マスター歸つちまふわ、何してるんでせう」

はるみも、實は、さつきからそれを心配してゐるのだつた。

「やめるのなら、春の仕度なんかに苦勞しないうちにやめたいし」

さう思つてゐるので、三津澤から早くマスターに云つて貰ひたかつた。お正月までにもう十五日くらひしかないさ思ふごさがはるみをいらいらさせてゐた

密山支隊急追 李杜軍絶滅す
白皚々の曠野は紅に染むも 惜しくも李杜を逸す

【虎林十日發國通】密山支隊は昨九日午前六時黑膽子を出發途中大房子及びその東方杜店に於て疲勞困憊して退却中の敵に追及しこれを捕捉した時は

『敵匪』は体力氣力闘力なく馳走も出來ぬ有樣で我軍の火力をくゞつて逃走したものは目擊する處僅かに十騎內外にすぎず、他は全部完全に見渡す限り白皚々の曠野を一面に紅に染めて殲滅して了つた、皇軍は此の戰に於て小銃三百五十、馬二百七十、無線電信一を鹵獲したが、其內に李杜の常用の自用品並に愛乘した軍馬二頭、自動車一臺があつた、之れに力を得て支隊の士氣益々あがり、李杜捕捉の目的をもつて自動車縱隊のまゝ全速力で虎林城內に突入した時正に八日午後零時三十分我軍の入城を聞いて急遽對岸の露領に向ひソリにて氷上を退却中なる李杜の姿を發見もしも折しも露軍が河中氷上に於て之を迎へ武裝解除の着手せるをもつて僅かに五百米を隔て露軍に武裝解除されつゝある李杜を眼前に見ながら手の下しやうもなく、茲にみすみす長蛇を逸せざるを得なくなつたことは遺憾に堪へず支隊將兵一同くやし涙の下るを禁じ得なかつた情報を綜合するに李杜及其の家族と李軍幹部廿余名は二百數十名の手兵に護られて日本軍に迫まれつゝ七日虎林に落ち延びて來たもので、而して露軍に武裝解除されたものは李杜以下兵士二百內外で、露軍は李杜軍の逃込みを豫期せるものゝ如く相當の兵力を以て武裝解除し、目下兵營內に監禁して居る模樣である、今回我軍の追擊戰によつて李杜軍は完全に殲滅し得たが、之れは一に

『我軍』の追擊の勇敢猛烈なりしにあるは勿論だが、積雪深く蔭蔽物なく平擔なる土地なるため遠望利き敵影を失ふ事なかつたによるが更に我支隊は自動車により敵は騎馬によつたため其間大なる速力の差あり敵をして得意の掠奪の暇さへ與へなかつたのは大成功と言はねばならぬ、此の追擊戰で我軍の損害なく、支隊將兵共に士氣益々旺盛である

王德林結局 露領に遁入か
園部枝隊東寧占領

【東寧十日發國通】園部枝隊は十日午後四時東寧に迫り山砲を有する三百の敵の迎擊を受けたが、之を擊退し無事東寧を占領した、王德林は三四百の部下と共に日本軍入城の約一時間前南方の山谷に向ひ逃走した、市民の言によれば王德林は妻子を露領ニコリスクを經て上海に避難せしめたとの事である、園部枝隊は東寧附近に散在する匪賊を掃蕩すると共に逃走せる王德林を捕捉すべく直ちに行動を開始した、王德林は皇軍の急追に結局露領に遁入する模樣である

丁超も遂に 露領へ遁入か

【ハルビン十一日發國通】飯塚支隊は九日午後六時無事に寶淸に入城したが丁超は既に八日夜部下二〇〇〇を率いて饒河虎林方面へ退却した後であつた之亦露領に遁入するものと見らる

北滿方面に 共匪なし

【密山十一日發國通】東部線以北一帶の滿露國境地方には共產黨匪が多數あつて或地方ではソヴイエツト政治を行つて居ると傳へられて居たが今回我軍の當方面(密山)進出によつて之が實情が判明したが成る程國境近くの饒河附近には武裝せる朝鮮人が橫行して居る事は事實らしきも、穆稜から密山一帶には昨年四月より十二月に亘つて數回國民黨系の共產主義宣傳游擊隊が潛入して黨員募集を行ひ、僅かに四十二名の入隊者を得たのみで住民には、何等の共產的施設なし、之れに見れば黑龍江松花江合流地方の共產化云々も恐らく共黨に名を藉る土匪の集團が人民いぢめをなしつゝあるものと見られ北滿國境の共產匪賊も聲のみである事が略明白となつた

擧國一致國 難に當る
宋子文語る

【南京十日發國通】宋子文は本日記者に語る
日本の武力侵略主義は世界平和の禍根だ山海關事件に關する國府の對策は未だ發表出來ぬか擧國一致國土の權利を保善すべきは言を待たぬ汪兆銘もゼチバ經由數週間後には歸國して國難に當る筈

草場大佐日程

來京の參謀本部鐵道課長草場大佐は十一日午後十二時二十五分新京發飛行機でハルビンへ向つた、尙同大佐は穆稜江其の他各地巡視の上十七日新京歸還、大連へ赴き二十二日朝鮮經由歸京の豫定である

支那側が停戰交渉に 入り得ない理由
山海關の不安依然去らず

【東京十一日發國通】山海關事件善後策としては我國から只管地方的解決の大方針で進んでゐるに拘はらず、その筋に到着した情報に依れば南京政府、張學良間の微妙なる關係から現地に於ける日支直接交渉は相當困難の模樣である、即ち蔣介石としては三中全會議の決議を別とするも先年滿洲里露支衝突事件の際の經驗に味をしめ、飽くまで學良を起用し武力抗日を行しめ、學良の勢力減殺を秘かに計畫、これに對し學良も對內策上表面日本との抗爭を續けせざるを得ず、若しこれを抛棄せば各方面から學良自身の抹殺運動を起さるゝ運命にゐるので今後共その眞意如何に拘はらず武力抵抗の姿勢を持續手兵の移動を行ふべく、斯く山海關近邊の日支關係は容易に樂觀を許さゞる情勢にある模樣だ

交渉の計畫 さへ立てず
南京外交部發表

【南京十一日發國通】山海關問題で日支和平交渉に對し外交部では左の如く發表した
正式にも非正式にも政府は絶對に我代表を任命した事なく交渉開始の計畫を立てた事もない、交渉開始說は全く虛報である、國民政府は目下事件の推移を靜觀し尙政府要人多數は徹底的抗日決意の下にあく迄日軍に抵抗すべしとの意見が有力である

蒙古民族獨立氣運 湯玉麟大狼狽

【奉天十日發國通】熱河の風雲漸く切迫せる折柄多年湯玉麟の壓政下にあり苦しみつゝあつた赤峰以北の蒙古民族は獨立運動を起しその氣運今や熱河省內一帶に擴大する形勢となつたので熱河省主席湯玉麟は狼狽し代表を派し盛に各族に諒解を求めてゐる

宋哲元軍乘込 學良の威望失墜
―內爭の端緒開くか―

【北平十一日發國通】宋哲元の大軍が續々北平に到着すると共に學良の威望は急遽に失墜され支那側一部では北平に兵變の起るべきを豫想し早くも大センセーションを惹起してゐるが一方石家莊方面に集結してゐた商震軍も俄かに北上の途に就きつゝあり、北平を中心とする支那軍內爭の端緒はこゝに早くも開始されたものとして注目さる
尙天津以北に出張つた學良軍が今後北平方面に歸還する事は頗る困難で、平津に於ける學良の實勢力は最早や昔日の觀がない

蔣張近く 會見か

【南京十一日發國通】國府側は蔣介石は學良との會見を否定してゐるが一部では學良からの要求もあり政治上の許す限り近々北支軍隊檢閱の名目の下に北上するだらうと見られてゐる

敗殘軍の輸送等 金欲さの策士の宣傳

【チチハル十一發國通】露西亞に拘留されてゐる蘇炳文張殿九軍の敗兵三千を熱河に集中せしむるとの說及び蘇炳文張殿九の連名通電に關する北平電に付某要人は語る
敗殘の蘇・張が老幼男女總動員して仇を倒せよと連名通電した事は敗將のだれしもがさせる常套手段が自己辯護に過ぎない、それ程口おしかつたら日本軍が如何に威風堂々たるものありとしてもあの大興安嶺の天嶮を一戰も交へずして妻子を伴れて命からがら放棄せず、弓矢盡くる迄も闘ふ筈ではないか眞に憤慨にたへない敗將の戲言だ、熱河移駐說に至つたゝ宣傳とより思へぬ、如何となれば我軍の威武に面喰つて逃出した程戰意なき烏合の衆を熱河に移した處で役に立たないのは當然で且つあの外蒙古を自動車で輸送して來るなど平時でも困難なのに目下學良一派反滿抗日で寢もやらずと忙を極め、馬車一臺でも欲しがつてゐる際、三千の敗殘兵輸送に外蒙を橫斷するだけの餘裕は絶對にない全く事實上不可能だ多分北平に在る蘇張系の策士が金欲しさの陰謀に基く宣傳だと一笑に付して意に懸けてゐない

顏惠慶を 駐露大使に任命

【東京十日發國通】國民政府は顏惠慶氏を蘇聯特命全權大使に任命する旨六日付で公布した、尙顏惠慶氏の後任として七日付施肇基氏が新に聯盟支那代表に任命された

英艦長の調停斡旋に 我方は考慮中

【天津十一日發國通】天津の支那駐屯軍司令部は十日午後七時左の如く發表した
秦皇島在泊英艦艦長は六日午後四時第二遣外艦隊司令官津田少將を訪び停戰交渉斡旋方を提議せるをもつて、津田司令官は支那側にその意ありや否やを確めた上でなければ申込みに應じ難しと答へたるが同八時該艦長は支那側も交渉締結の希望あり、交渉地、時間、代表者名を通知されたしと申込み來れり、右に關し日本側より未だ何等の回答も發せず愼重考慮中なり

山海關問題で 聯盟支那を押へつく
日本の誠意解決に依賴す

【ジユネーブ十日發國通】確報に依れば支那代表顏慶惠は八日ドラモンド氏に泣きつき聯盟が山海關問題を取り上げんことを求め且つ事務局の一部では支那の爲めに策動してゐる事實もあるが聯盟は山海關が目下事態靜穩で且つ地方的解決に對する日本の誠意に信賴して支那の策動を押へつけた模樣である

和氣春風　皐水書

齋藤新年の譜

年頭所感
立憲民政黨總裁 男爵 若槻禮次郎

多事多難であつた昭和七年を送り、茲に希望に輝く新春を迎ふるに當り茲 謹んで聖壽の萬歲を祝し奉ります、滿洲國と締結せられたる、議定書に基づき匪賊を剿定して其の治安を保持する爲に嚴寒の曠野に苦闘を續けて居る我が皇軍の忠勇なる將兵諸氏に對して深甚なる感謝の意を表し、切にその健康を祈ります滿洲問題は未だ國際聯盟に於て解決を見るに至つて居りませぬが、世界各國は漸く滿洲事變及び滿洲國獨立の事實の眞相に關する認識を深め、我國の牢乎たる決意の存する所を諒解して適當なる結末を告ぐるに至るものと考へます

昨年來政府の遂行した非常特別の諸施設と國民の自力更生の決意努力と相俟つて、我が經濟狀態は稍恢復の曙光を認め得るに至つた如くであります。然しながら眞に努力を要するのは懸つて今後にあるのでありまして、此際樂觀を致しますならば大逆轉の非境に陷るのであります、國民は擧げて極めて周到なる用意と堅忍不拔の精神とを以て全力を傾注致し、今年こそ我が邦の經濟を常軌に復せしめなければなりませぬ

今や內外多事國民は蝸牛角上の小闘に心骸すべき秋ではありませぬ、宜しく國家の大局より達觀して誠心誠意事に處すべきであります國民は新年の初頭に於て須らく此の決心を固め希望を抱き大に邁進せねばなりません

世界の大勢を見まするに、是れ又重大なる諸問題に直面して居ります世界軍縮會議、世界經濟會議は幾多の迂餘曲折を經て、未解決のまゝ今年に持ち越されました、今年は各國の協力に依り世界平和の確立、賠償金及戰債問題の解決通貨基礎の安定關稅障壁の緩和等諸方策が着々として實現せられ世界不景氣の克服に大に貢獻する所あらんことを切望に堪えない次第であります

直接交渉は 支那側が應諾すまい

【東京十一日發國通】山海關事件解決の爲日支直接交渉開始が傳へらるが、昨夕迄は陸軍省には定說なく確實なる點は判明しないが兩三日前何柱國はケリー氏を介して三浦參謀に會見を申込んだ事實もあるから交渉開始の氣運は相當濃厚化し居るが何柱國は張學良より妥協態度を一切廢し山海關を奪取せよと嚴命され居り板挾みの苦境に在るので直接交渉開始されても根本的解決は第三國の介入反對と日本軍の現狀維持と支那軍の石河以北退等を要求して居るので解決至難と觀られ茲少時持越す模樣である

支那軍の 配備嚴重

【東京十一日發國通】陸軍省公表
熱河方面では凌源附近の第六旅の第一線部隊が大成子及葉柏壽附近に前進する等支那軍の挑戰態度は愈々露骨となり又赤峰から山海關の線は昨年十一月から要所に防禦地が構築され平泉、喜峰口、灤州の線も最近防禦陣地の設定計畫ある模樣である

秦皇島北平間 長距離電話 使用停止

【北平十一日發國通】前線支那側官憲情報有力機關だつた秦皇島、北平間長距離電話は日本側に沒收せられるとの懸念から使用を停止した、尙秦皇島支那商民は續々唐山及び平津地方に避難しつゝある

灤東の支那 軍暴虐

【天津十一日發國通】秦皇島よりの報導に依れば山海關事件後灤河以東區に支那側が大軍を集中したので糧食其他の補給困難となり軍隊は到る處で掠奪を始め同方面の部落は甚大なる被害を蒙り慘澹たるものがある

九門占據で 我が軍聲明す

【錦州十一日發國通】我三宅部隊は十日午前九時十五分九門を完全占領したが錦州部隊司令部は九門占領につき十日左の如く發表した
張學良は關の內外を通ずる殘された唯一の通路たる九門口を經て正規軍僞勇軍を關外に送り以つて我後方を攪亂せんとした、從つて九門口をその儘放置せば山海關其地奉山線一帶の治安は終始脅かされる結果となるのだ、我軍はこれを占據しもつて學良の策動を防止したる譯である、併しながら我軍は關內には斷じて一歩でも這入らない

米國の招請は 尙ほ懸引の餘地あり

【ジユネーブ十日發國通】有力筋より確聞するに協和委員會に對する米國招請問題は未だ決定的解決を見るに至らず聯盟側では米國等と明示せず非聯盟國として日支問題に密接なる關係を有する國を招請することを得ると云ふ樣な方式におさめんとし度い意向だが、此問題は日本の決意如何で更に一押し押し得ると見られる、更に米國側でも參加の意向があるか否かは極めて疑はしい

松岡全權壽府へ

【ミラノ十日發國通】イタリーを一巡遊中の松岡代表一行は九日のフオルリ市訪問を最後とし十一日朝ミラノ發ジユネーヴへ向ひ一路歸還の途に就くこととなつた

イタリーの 松岡代表

【フオルリ「伊太利」十日發國通】松岡代表は九日フオルリ市に赴きムツソリーニ家の墓に詣で花輪を捧げた後ムツソリーニ誕生の家を訪問した一行はそれよりフアツシスト黨同方支部の歡迎會に臨んだ

松岡代表は山海關事件並に帝國政府の對聯盟策に關し新聞記者團に對し左の如き聲明書を發表した
「聯盟に於ける帝國政府の根本主張は今次の山海關に於ける衝突事件に依つて聊かの變更をも見ない滿洲國は完全な獨立國としての權能を行使に完全な利を有するものである、日本は今後引續き聯盟內に留る事に何等特別の利害關係を有して居ない、現に日本國內に於ても强硬なる聯盟脫退論が擡頭して居る目下の處小數論たるを出でない」

一二三兩月分 滿洲事件費
其の他を大藏省に提出

【東京十日發國通】陸軍では十日午前大藏省に本年度追加豫算として今議會の協贊を仰ぐ可き一、二、三兩月分滿洲事件費滿洲部隊入營費、一時賜金災害手當等合計二千八十餘萬圓を提出した

特產出廻旺盛 本月上旬の統計

【國通】舊正月を前に控へて特產出廻は漸次高調を呈してゐるが滿鐵及び各線ともその發送圓滑を期するため全力を擧げてゐる始末で昨年來の構內滯貨も今旬中に大方さばかれ二日など管內積込二萬一千八百二十噸、貨車數七百六十四車輛といふ本年に入つての最高レコードを示した、しかして一日より昨十日迄の特產出廻り旬計は左の通りである

△發送噸數

管內(社線の分)	[illegible]、〇〇〇噸
四洮	[illegible]、一六九
中東	[illegible]、一六八
吉敦	[illegible]、三七七
合計	[illegible]

△構內在貨

管內	一〇三、〇四〇
四洮	四八、〇〇五
中東	三七、一一八
吉敦	五九、七三〇
合計	二四七、八九三

なほ右發送噸數の內譯は左の通りである

大豆	三六、四五〇
高粱	七、七五二
玉蜀黍	三、〇九〇
粟	三、〇三五
雜穀	一三、六〇一
木材	二、四四〇
豆油	一〇四
豆粕	一三、八五三
其他	一三、〇九四

民政黨の 對議會陣容

【東京十一日國通】民政黨は休會明け議會に臨んでの質問打合せを爲すべく十日午後四時から院內外總務及び各質問希望者の聯合會を開き先づ富田總務から「過般の院內總務會で齋藤首相の施政方針の演說に對しては忌憚なく質問を行ひ、機會ある每に我黨の政策を議會を通じて國民に明らかにすることになつただが諸君の之に關する腹藏なき意見の開陳を願ひ度い」との挨拶あり、之に對して俵、賴母木、町田、中島、原、武富、野村櫻井等の諸氏からそれぞれ我黨としては現內閣を支持せねばならぬ立場にあるが徒らに追從せず、糺すべきは糺し殊に後年度の財政計畫については充分國民の聞かんと欲する所を我黨の主張を明らかにすべきであると述べ院內總務の決定を承認し質問者の順序に關しては富田櫻內兩主任總務に一任することに決した、仍つて兩總務は成るべく速かに質問の部門及び之が擔當者を詮衡することになつたが大体質問は財政經濟問題外交問題社會思想問題其他の問題の四つに分ち各部門の質問者が決定の上それぞれ會合して內容及び順位を打合せる筈だが目下の處本會議では鈴木富士彌氏が豫算總會では町田忠治小川鄕太郎氏が主となり質問陣を張ることとなつた

六二、芝麻八四、蘇子二八、大米十、粳米五六、大麥二、豆餅七、碎米一四三、五四、屑四八、五莫豆八七、其他一二、合計一〇、七九五にて前年度合計を示せば大豆混保七一八、營口一、四九六、五高粱一、一七七、小米一、一七一元豆二〇八、五谷子一九、八迷子八、苞米一二三、五小豆二二八小七吉豆二四、五蕎麥二九麻子六一芝麻一七五蘇子三四五六米四精米一七大麥六豆二〇碎米五六五、穀屑一五莫豆五六、其他五一合計九七二にして前年に比し五、〇七一の增加を示し前々年年度に比すれば三一九八の增加を示して居る尙仕向先大別を示せば大連方面大豆一、四〇五五高粱一〇一四、五吉豆五三、五小豆一〇九苞米二三三、小麻子一六一黃豆八九屑米一三九、五麥八九蘇子二七小米三九粳米四四其他一四〇合計三、五四〇となり營口方面 大豆一、〇三、四高粱五七〇 豆一五元豆二三小米二四、五小豆一一包米九九五其他一五合計一、八二二となつて居る 朝鮮 小米二、八一三元豆一六〇五吉豆四九蕎麥七一、五胡麻五〇、五高粱三〇三五苞米四〇小豆 屑米四合計二、四九四に達し其他にも豆一〇三高粱一二六吉豆二小米一九二胡麻一二二蕎麥一二粳米一〇包米六其他一六合計四八〇を仕向けて居る混保埠頭三四六營口一、一二三合計一四六九である

四平街驛中心の 貨物動き(二)
六年十月から 七年九月まで

九月 大豆混保四四五、營口一〇〇、五高粱五八五、小米七二、六米一五五、迷子三六、苞米二二五、蕎麥六、吉豆一〇、九小豆一、小麻子二、蘇子四、粳米二、碎米三、穀屑一、其他一、計七四七にして合計を示せば大豆混保一、四六九、營口一、二五、高粱二一、〇一四、小米三、〇七四、五元米二一、一谷子一、二迷子一〇、苞米三七九、五蕎麥一七二、吉豆一三〇、五小豆一二、大麻子一〇、小麻子一

經濟

海外市況(十日)

倫敦銀塊現物	一六片四分三
先物	一六片一六分一三
紐育銀塊	二五仙八分一
孟買	五〇留比一六分七
米英爲替	三弗三五仙一六分七
米日爲替	二〇弗七五仙
米支爲替	二六弗
スチール株	三一弗
上海標金寄付	七九八兩五

大連錢鈔(十一日前場)

現物寄付 九九、六〇 跡 九八、九五
先物寄付 九九、七〇 跡 九九、九五

阪神相場(十一日)

日米爲替 一回賣 二〇弗八一分一
一回買 二〇弗八六分二

奉取相場(十一日前場)

寄 一〇一元五〇 高 一〇一元四〇
引 一〇一元七〇 安 一〇一元六〇
出來高 六〇 現物 一〇一元八〇

京取相場

現物
大豆 一三、九五 出來高 一三車
小豆 一六、四〇 出來高 四車

城內錢鈔相場

鈔票對金票 九九、二〇
現大洋錢對金票 九八、三〇
臨幣對金票 九八、一〇
現大洋錢對鈔票 九九、〇五

料亭菊水の主人 詐欺罪で告訴さる
叔母の預金をまんまと利用 八千余圓を騙取す

新京北門外西五馬路料亭菊水コト内田藤松の叔母山中ヒデは長崎市株式會社十八銀行に内田藤松の姉向井リヨの名義で昭和二年三月十四日金千六百二十圓、同年八月三十一日千八百八十圓を定期預金とし昭和六年三月十九日書替當時に三千八百六十一圓四千五百四十圓となつてゐたが同年八月

『前記』銀行から四千五百四十圓の定期預金通知書が向井リヨの生家である内田藤松方に配達された、藤松は意外な大金の通知書を手にするや惡心を起し、姉を欺き大金を手にして滿洲に飛び料亭を開業すべく計畫し、直に實姉向井リヨに前記の事情を照會した處姉より絶對に預金はないとの返事があつたので、藤松は不審を抱き今通知書を懐にし撫順に走り、姉に通知書を見せ二人で考へた末叔母山中ヒデがリヨの名義で預金してゐることが判明した 二人はみすみす自分名儀の大金を捨てることは殘念だから叔母に話さず二人で引出すべく協議し、引出方法を考へた揚句、リヨの預證書印鑑を紛失したと稱し、撫順警察署に出頭し同署で紛失證明書をもらひ、預金再發行方を

『銀行』に願出で、昭和七年二月二十日新證書の交付を受け直に引出さんとしたが、右定期預金證書額面四千五百四十圓が同年九月一日同三千八百六十一圓が同年三月十九日となつてゐるため拂戻が出來ないと斷はられ氣抜の方となつたが併し藤松は如何なる方法かで前記預金を引出さんと苦心の末新預金證書を持ち長崎市新大工町六十四番地富永市松に右證書を示し預金債權の讓渡方を交渉し、同年三月から九月迄日歩一錢三厘の割合の利息金三百九十圓三十三錢を差引ひ、まんまと騙取し、續いて三千八百六十一圓を前記同樣手段で長崎市鈎ヶ浦町四丁目百二番地森山代氏に讓渡をなし三千八百余圓を騙取し、家を拂ひ直に新京に飛び前記場所で何喰はぬ風を裝ひ料亭を開業してゐた處長崎市警察當局の探知する處となり預金證書の

『讓度』を受けた前記兩名から詐欺罪で新京總領事館警察署へ告訴され同署では直に前記内田藤松を引致取調べを開始した

傷病兵歸還

歩兵第〇〇聯隊下上少尉以下十一名の傷病兵は十日午後〇時三十分發列車にて内地歸還の爲大連經由車上の途に上つた

身重の女を蹴つて早産さす
憤慨した夫が告訴

最近著しく激増した犯罪と共に告訴事件も又日に日く其の數を増し新京署司法係へ現在『提出』されてゐる告訴状だけでも五十余通に及び、金錢問題、暴行、姦通等の事件で倉田主任、平林警部補は大童となつて取調を進めてゐる、其の内の暴行事件一つ……市内日出町三丁目朴用燁の妻金明玉(三六)は兼ねがね東二條通日鮮精米所へ米選に働いて居る中、去る十二月十九日午前十時頃同所使役朝鮮人人夫某と傳票紛取有無の事から口論となり、果は取組となつて喧嘩の最中、人夫監督の權永培が來合せたので其の場の喧嘩はおさまり、金は又座して米選りをなしてゐた處、突然權が金の片手をねぢ上げた横腹を一同蹴つたので腹痛をおこし金は直に歸宅床に就いたが其儘頭があがらず養生中二十三日局部から多量の『出血』をなし二十九日十時頃姙娠六ヶ月の男子胎兒を早産したので夫の朴が憤慨し暴行罪として告訴したものである

皇軍出身地の
青年代表慰問に來滿 報知新聞社の計畫

報知新聞社では在滿皇軍將士慰問のため出身地師團管下の聯隊所在地の青年團から各代表者一名宛を募り社員同伴で派遣各郷土事情の報告や、郷土からの温い手紙を持參し、更に活動寫眞や藝人を參加せしめ上映又は聞かせ心からの慰問をすることゝなつた、一行の來京日程及び各地代表者は左の如くである

日程

出發期日　昭和八年一月十日頃
滯滿期間　約二週間
往復日數　約十日間
本社側特派員　監督者一名外に社員四名
旅費　代表青年團員の東京迄の往復旅費及滿洲への往復旅費は本社の負擔とす。但し小遣は自辨のこと
旅程　旅程は東京より大連を經て奉山線、四洮線チチハル吉林線の各主要部隊慰問のこと

各地代表

- 山形縣代表小松久簾氏
- 岐阜縣代表可兒政美氏
- 靜岡縣代表杉村喬一郎氏
- 青森縣代表寺島勝雄氏
- 同今泉洋一氏
- 岩手縣代表菊地武雄氏
- 同市山登氏同
- 栃木縣代表田沼貞治氏
- 同書柳德一郎氏同
- 群馬縣代表小野澤勝氏
- 長野縣代表春原新之丞氏
- 茨城縣代表久松茂氏
- 愛知縣代表藤田次夫氏
- 秋田縣代表近藤留一郎氏
- 千葉縣代表熱田勝利氏
- 同岡部筆氏
- 兵庫縣代表井關英雄氏
- 熊本縣代表島田世喜雄氏
- 東京府代表内藤充尚氏

きれた女に 藥代を請求す
女給を巡る不快な話

以前市内日本橋通の某カフエーに女給として稼いでゐた飯田マツエ(二三)假名は夫ある身でありながら自分より年下の男と通じ問題を起したことがあり其の後夫小田卷□(三三)假名はマツエと緣を切り

『自分』は教化方面に働きに行つてゐたが時氷斯に入つたので引揚げて市内富士町二丁目の支那宿春順棧に宿泊管てマツエの病氣の際に立替えた藥代三百圓餘を切れてしまへば赤の他人であるとて其支拂を迫るためマツエの行衛を搜してゐると日本通の新長カフエーにゐる事が判り度々催促をしたがマツエがどうしても聞きいれないと云ふので新京署保安係へ訴へ出で門田警部補が取調べの上マツエを說諭し分つゝでも返濟する樣に

『取計』つたさうであるが、マツエの若い燕宮田某假名は年增女の濃厚さに嫌氣がさし吉林方面に姿をかくしてしまつたと

各地傷兵 大連より凱旋

〔大連十一日發國通〕新京、鐵嶺、遼陽等各地衛戍病院で療養中であつた傷病兵鳥島中尉以下五十四名は今回内地に凱旋する事になり十一日午前七時市民多數の出迎を受け着連、大江町衛戍病院分院に入つたが十四日午後四時郵船照國丸で出發の筈

また長春人に 時間の觀念が缺けた
遲參者は斷つたらどうか

近頃新京人士が公の會合で豫定の時刻に集るものが殆どないと云つても過言ではあるまい、それでもさすが、汽車ばかりは待つてしばしが無いからこの發着時にはお互遲れぬやうにしてゐるが、この考へで何の『會合』へでも集つたら迷惑するものが尠くない、たとへば宴會なぞでも招かれた時刻通りに行くのは妙でないと云ふやうな變な言葉からわざとおくれて行くものがあり、又よぶ方でも集りが惡いからほんとの開宴時刻より三十分か一時間まで早目に案內しやうと云ふやうな斷引が行はれるので、だんだんそこに喰ひちがひが生じ、時を守るものは、その間にはさまつて、アクビを噛み殺し、煙草を吸ひすぎシビレを切らす、それに懲りていつの間にか時間不勵行組に引入れられてしまふらしくこの頃何の集會でも三十分や一時間遲くれるのは普通のやうになつてしまつたこれでは困る、何時から何時まではどこそこにそれから先はどうとチヤンとプランをたてゝゐるものには大きな手違ひを生ずる、長春時代にも、あまり時を守らぬ人が多くなつたので公の會合に遲れた人々の記錄を取つて新聞にのせたところ、これに『僻易』して時を守るやうになつたことがある、これから公の會合に遲れたのは入席させないやうにと、どんな偉い人にでも之を適用すると、こにしたら此の惡癖はやがて一掃されるだらう

新京城內を四區に變更す
新に區長街長を選任

新京市政公署では從來の五區制度を改正し新に全市を四區に別ち區內の公益事業並に市長の特命事項の充實を圖ることゝなり、十日午後二時から市政公署會議室で金市長、橋口總務司長を初め各科長集合協議を重ね、新京市政公署區規定を定め區長街長を選任し區の事務にあたることになつた、區長は區內に二ケ年以上居住したもので且つ區內有力者を選任し、又街長も前記同樣で且つ區長を助け區內の自治を計るものである、區別は左の如くである

第一區　大經路警察署管區域
第二區　四道街警察署管區域
第三區　長通路警察署管區
第四區　南關警察署管區

夜など一時間も 戸を叩く嫖客
少しは警察も注意ありたい

最近こんな問題を持ち込まれたのがある、それは附屬地內三笠町三丁目の裏通りに住む人からであるが、その云ひ分とは近所に朝鮮料理屋があつて始終安眠を妨げられる、夜の一時二時ともなるとさすが辛棒よく客の來るのを待つてゐる鮮妓もあきらめて店を締めてしまし、それから後一般の人々は漸く深い眠りに入る頃になつてさまよつて來る嫖客がその朝鮮料理屋を叩き起さんとするのが毎晩である、どうせそんな時刻にうろついて來る客に碌な奴は無いとのことで多寡をくゝつてゐる料亭では戸締をあけやうとはしない、嫖客の方では是が非でもあけさせやうと、表戸を靴で蹴る硝子を平手で叩く、窓枠を石でコツコツやる、その騷々しさ、必ずあたり近所は夢を破られてしまう、これも一週間に一度とか五日に一遍とでも云ふなら我慢もしやうが、毎夜ではさてもたまつたものでない、先夜なぞは叩き起す奴も辛棒よく一時間あまり叩き通し、あげない奴も辛棒よく白川夜船を裝つてゐた、あんな場合警官派出所へ訴へたら安眠妨害の廉で懲してやつて貰ひ度いものであると云ふのであつた

東部線愈よ けふから開通

〔ハルビン十一日發國通〕我軍の出動により東支東線が完全に保障せられる事となつたので東支當局は愈々十二日からハルビン浦鹽間の直通旅客列車を運轉する事となつたが當分の內はポグラニチナヤまで日本軍が警乘する

山海關戰の 我貴き死傷者

〔東京十一日發國通〕山海關の戰闘に於ける皇軍の戰死傷者につき陸軍省は十日左の如く發表した

△戰死
支那駐屯軍　將校二、下士二、兵四
關東軍　將校一、下士九、兵十
合計　將校三、下士十一、兵十四

△負傷
支那駐屯軍　將校一、下士三六、兵三七
關東軍　將校三、下士六三、兵六六
合計　將校四、下士九九、兵一〇二

市政公署で
大々的戸口調査

從來新京城內の戸口調査は不規律を極はめ充分なる調査が出來ず現在では確なる人口すら判明しない狀況で、市政公署では今回愈々徹底的に調査を行ふことになり、本年度の豫算に調査費八千圓を計上、近日中に全市に亘つて開始する

盤山縣公署で 王道始政一週年記念

盤山縣公署では十日同公署內にて王道始政一週年記念日大會を開催したが協和會中央事務局よりは局員三名が出張し祝辭を述べると共に王道政治の宣化その他につき協調する處があつた

協和會の川柳會

滿洲國協和會中央事務局では會員相互の親睦を兼ね和らかな氣にしたいと每月川柳會を開催することになり初會を十一日午後七時より松島町溫泉クラブで開催した

貨物車追突
貨車四輛車掌車脫線 昨朝吉敦線の椿事

〔國通〕十一日午前四時卅分頃老爺嶺六道河間百八十九キロ附近に於て十三貨物列車分割運轉中後發第十貨物列車は停留中の車輛に追突貨車四輛及び車掌車脫線たしが人員には被害なし、よつて旅客一列車は吉林より第二列車となり第二列車は小姑家より第一列車となつて運轉す復舊時刻は未定

建國以來の 政治工作を一括
「滿洲國年鑑」を發刊

滿洲國の建國以來、執政府始め國務、立法、監察、三院に屬する各部局、政務機關は、或は財政の改革に或は法制並びに司法制度の革進に或は國際的關係の樹立に又は敎育の全滿普及、實業、交通の開發等々にと銳意建國的政治工作に邁進し來つたが、今度法制局にては此の意義ある建國の第一年を送れるを機會に各部政務機關の管掌せる建國以來の政治工作を一括して「滿洲國年鑑」を編纂、出版すべく、既に此の旨各部に通達し、目下各部局に於ては調査課が主体となり建國以來、各部管掌の建國工作に關し資料を纏めこれが記錄を作成中であるが大体二月下旬迄には各部共に脫稿する豫定で右原稿出そろひたる上は法制局統計處にて之を一括編纂し遲くも三月下旬迄には出版の豫定であるが、因に年鑑は滿文版であるが、日譯版、英譯版の刊行に就ては目下考慮中である

一部は脫稿

〔國通〕別項法制局編纂の滿洲國年鑑に關する建國以來の外交工作に關しては外交部宣化司が中心となつて起草中の處、既に逸早くその稿を脫し近く法制局統計處に廻送される筈である

▲記念館の前に出來たレストラン「二葉」、經營者は北平の長春亭の女將だ▲北平に遊んだものでこの長春亭の厄介にならぬもの皆無だと云はれるくらひ▲滿蒙關係、滿洲國の

鮮魚小賣相場

品名	相場	品名	相場
活鯛	一二〇 一三五	氷鯛	四五 六〇
チヌ鯛	四〇	連子鯛	二五 三〇
アマ鯛	一九 五二	マグロ	五〇 八五
ブリ切	二〇 三五	サバ	一八
アジ	二〇	星カレ	二〇 三〇
ヒラメ	一三〇 一六〇	キス	二〇 四五
ハゲ	四〇	オコビ	二〇 三〇
ホボ	二三	クジラ	一八
ホコ	一三 一四	小イカ	一二
タコ	一〇 五二 六八	車蝦	六二
カニ	五二	アナゴ	一〇 二〇
貝柱	五五	ナマコ	三〇
アワビ	一〇 二六	カキ	二〇
ハマグリ	一五	カマボコ	一六 一六
チクワ	五 八	カニ小	一六 二八
スマキ	一二	新上	二〇